

オーテピア／高知新図書館等複合施設



撮影 川澄・小林研二写真事務所

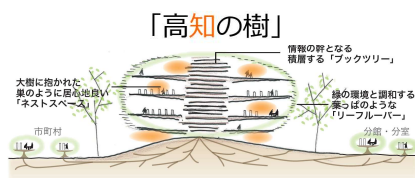


図1 コンzeptスケッチ

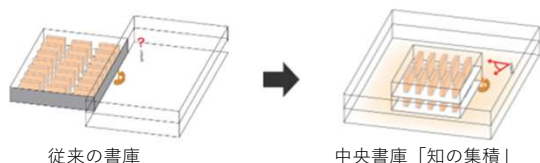


図2 まんなか書架イメージ

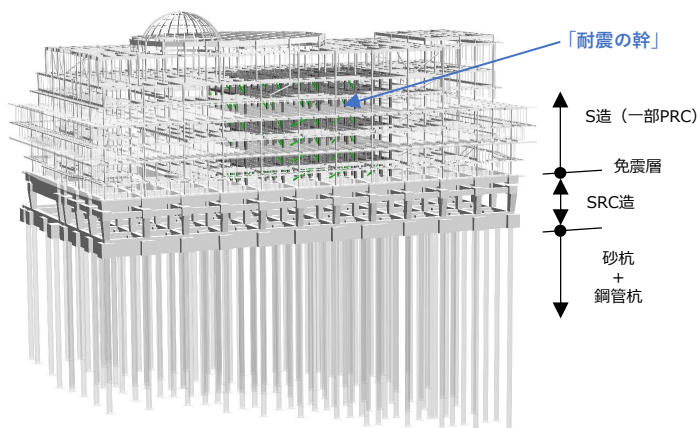


図3 大樹を構成する架構モデル

構造計画や構造設計上の要点について

本計画は、全国初となる県と市の「合築図書館」と、声と点字の図書館、科学館からなる、4つの機能が複合する「知的交流拠点」施設です。さらに南海トラフ地震発災の際には緊急避難場所としての機能も併せ持つことが使命でした。最大の特徴は、開かれた書庫をフロア中央に配置して、その周囲を開架スペースで囲む図書館空間です。この『高知の樹』の役割に見合った構造性能を発揮させる明快な構造デザインを追求していきました。地震と津波等に対しては、中間層免震で全体の応答低減を図ると共に、漂流物衝突でも自立できる、大樹が大地に根差すSRC造で力強さを表現しました。免震上部は、幹と枝並びに葉の架構構成を鉄骨造とし、中央の書庫エリアを「耐震の幹」に見立てたボックス柱と二重鋼管ブレースを集中配置し、開架エリアをシンプルに構成し、空間スケールに合わせた部材サイズで設えました。



渡邊朋宏 株式会社佐藤総合計画 構造オフィス
担当者コメント

開館から7年余りとなる2025年度末に来館者が700万人に達し、多くの方の暮らしの一部となり、親しんで頂けていること。街の賑わいの発信に大きく貢献できている事に、喜びを感じています。

建築主：高知県、高知市
設計・監理：佐藤総合計画+ライト岡田設計設計共同体
施工：大成建設・ミタニ建設工業・有生JV
計画地：高知県高知市